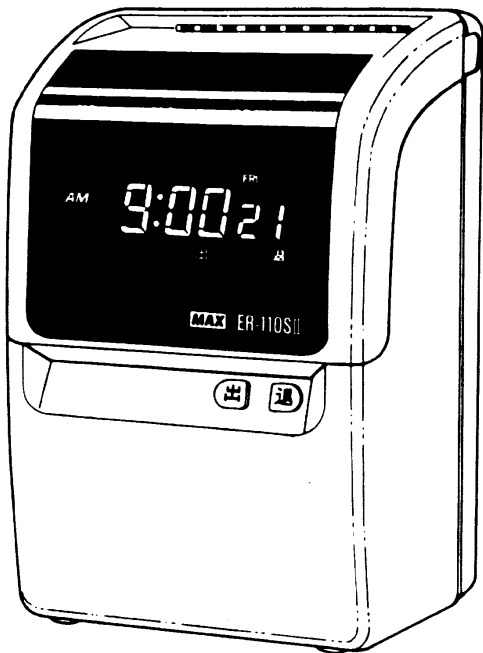


# マックス タイムレコーダ

## ER - 110S

### 取扱説明書



#### ご使用前に

ご使用上の注意	1~3
目次	4

#### 操作編

ER - 110S の特長	5
各部の名称とはたらき	6
毎日の使い方	7

#### 設定編

設定の仕方	9~18
4-1 現在時刻の合わせ方	
4-2 西暦年月日の合わせ方	
4-3 締日の設定	
4-4 始業時刻の設定	
4-5 終業時刻の設定	
4-6 残業開始時刻の設定	
4-7 日付変更時刻の設定	
4-8 計算モードの設定	

#### ご使用中に

インクリボンの交換方法	19、20
こんな時は	21
エラー一覧	21
商品仕様	22
保証書とアフターサービス	22
マックス拠点一覧	背表紙

本機は毎日の勤務時間を計算することができますが、月の累計は集計できません。詳しくは本書をよくお読みください。

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。  
この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。  
この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。  
本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

# 目次

ご使用前に

ご使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～3

ご使用される前に必ずお読みください

操作編

ER - 110S の特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

本機の特長となる仕様、付属品について

各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

各部のはたらき、操作ボタンの説明について

毎日の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

設置方法（壁掛け、寝かせて使う）、毎日の操作方法、印字例

設定編

設定の仕方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9～18

4 - 1 現在時刻の合わせ方・・・・・・・・・・・・ 9

4 - 2 西暦年月日の合わせ方・・・・・・・・・・・・ 10

4 - 3 締日の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

20日締以外のところに

4 - 4 始業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

遅刻マークを印字させたいところに

4 - 5 終業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

早退マークを印字させたいところに

4 - 6 残業開始時刻の設定・・・・・・・・・・・・ 14

残業マークを印字させたいところに

4 - 7 日付変更時刻の設定・・・・・・・・・・・・ 15

夜中の3時をまたいで勤務される方がいるところに

4 - 8 計算モードの設定・・・・・・・・・・・・ 16～18

日々の勤務計算を取りたいところに

ご使用中に

インクリボンの交換方法・・・・・・・・・・・・ 19、20

こんな時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

トラブルの症状とその対処方法について

エラー一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

エラー表示の意味について

商品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

商品仕様、消耗品について

保証書とアフターサービス・・・・・・・・・・・・ 22

保証内容、アフターサービスについて

マックス拠点一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 背表紙

西暦年、月、日、時刻は設定済みですので、電源を入れるだけですぐご使用いただけます。

出荷時に締日は20日に設定されております。20日締め以外のお客様は締日の設定が必要です。 **参照** P.11 締日の設定

設置方法が次の3つから選べます。 **参照** P.7 設置の方法

置いて使用                      そのままお使い下さい。

壁に掛けて使用                  簡単に壁に掛けられます。

寝かせて使用                      **寝かせて使う** ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、寝かせて使う時に時計が読めるようになります。

1枚のタイムカード「ER-Sカード」は、1日に2回入れることができます。

入れるだけで、1回目を出勤、2回目を退勤の欄に印字します。

ボタンは、それぞれ出勤時、退勤時に打ち忘れた時に使用します。

**参照** P.8 毎日の操作方法

始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク(チ)・早退マーク(ソ)が自動的に印字されます。 **参照** P.12、13 設定の仕方

設定により所定内時間または残業時間を日毎に計算しタイムカードに印字します。 **参照** P.16~18 計算モードの設定

出荷時は「計算なし」に設定されております。

本機は月の累計は集計できません。

不意の停電や設定場所の移動によって電源が遮断された場合でも、内蔵のリチウム電池で工場出荷から停電累計5年間は日付、時計、設定内容などのデータを保持します。但し、停電時の印字はできません。

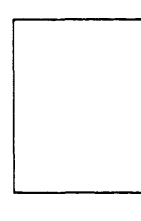
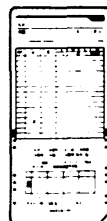
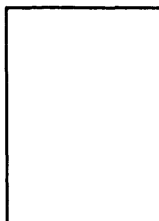
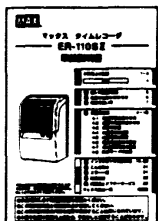
**付属品**                      ご使用前に必ずお確かめ下さい。

取扱説明書  
(本書)1冊

操作早見ガイド

サンプルカード  
(ER-Sカード)20枚

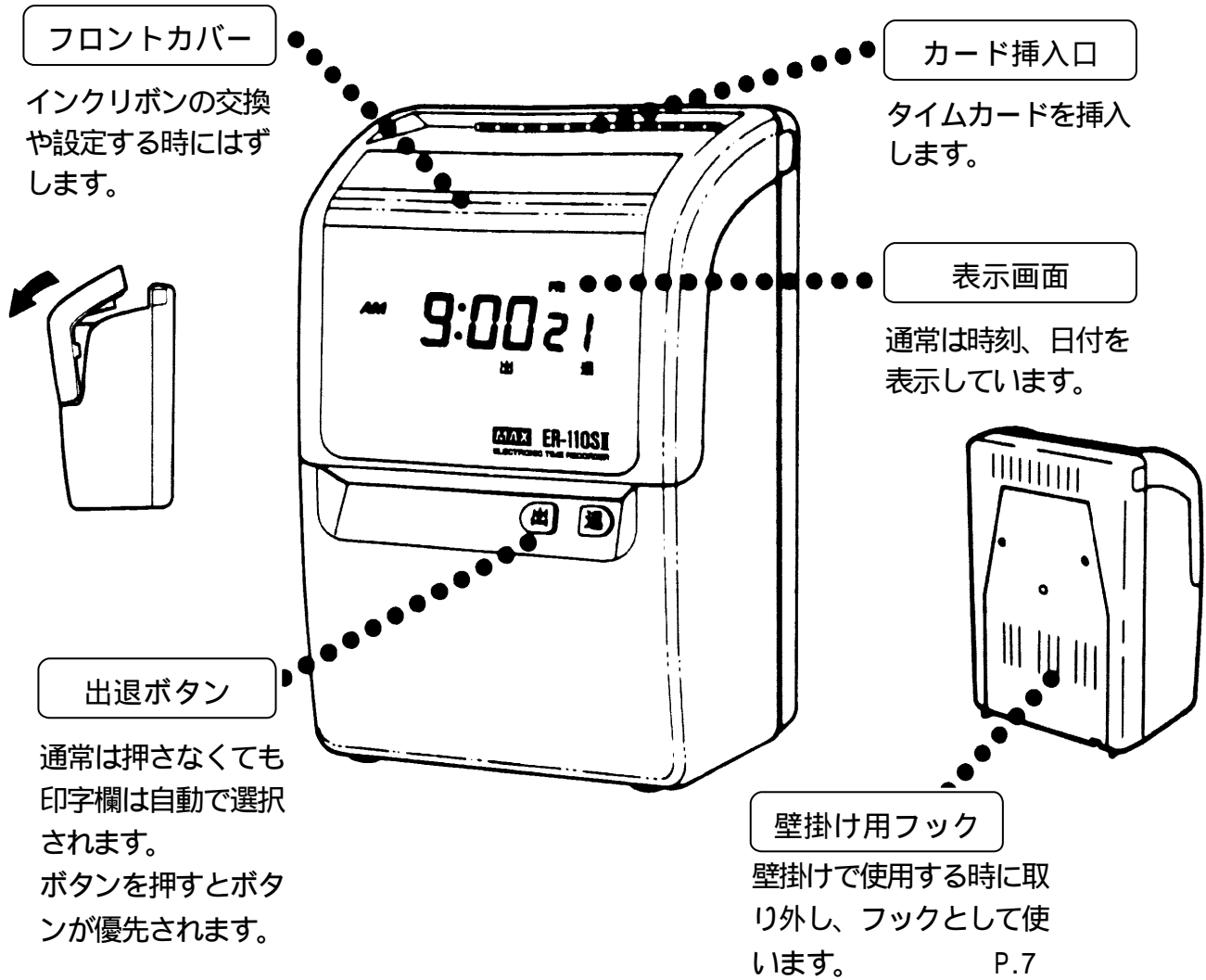
お客様登録カード  
(保証書)1枚                  壁掛け用ネジ  
2個



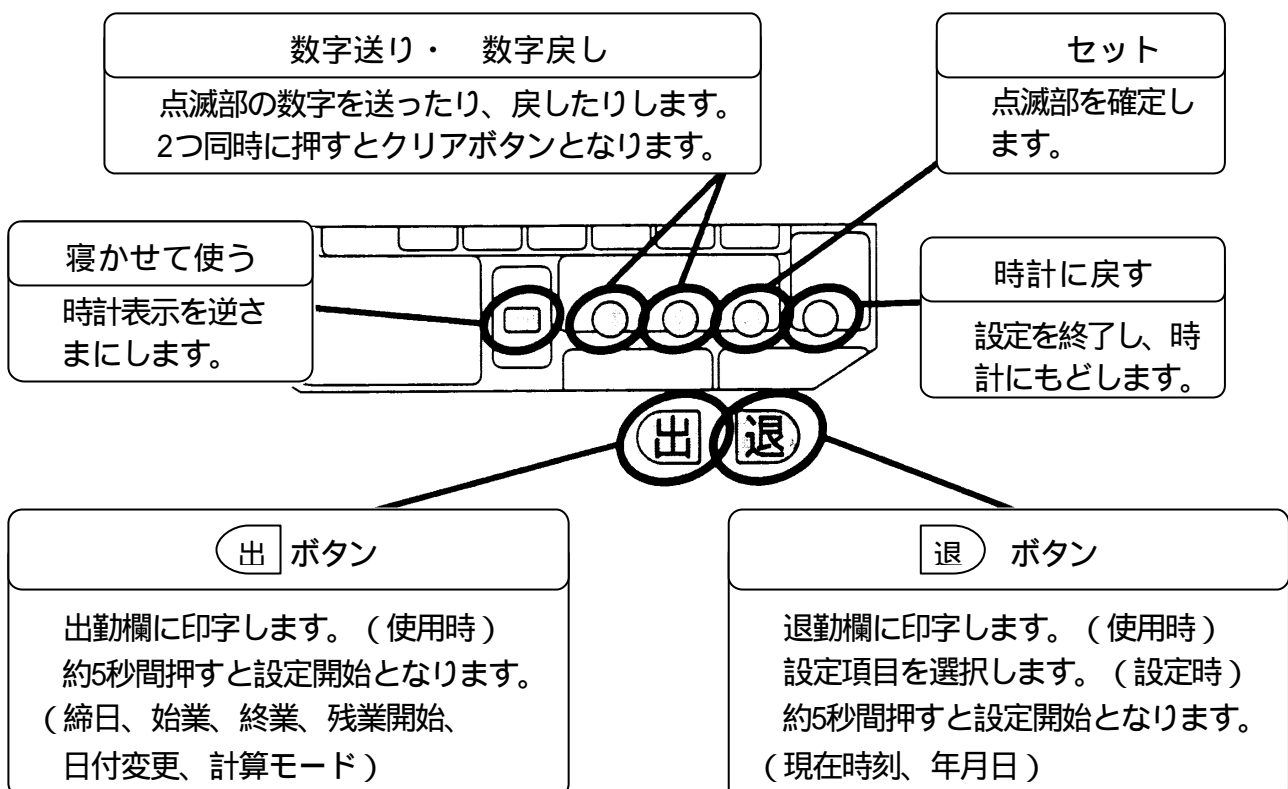
**お願い**

お手数ですが、お客様登録カードに所定事項をご記入の上ご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。  
操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますようにいつでも取り出せる場所に大切に保管して下さい。

# 各部の名称とはたらき



## 操作ボタン



# 毎日の使い方

## 設置方法

### ⚠ 注意



本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

壁に掛けて使用するときには、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落下等により、けがや故障の原因になります。



壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。

### 置いて使う場合

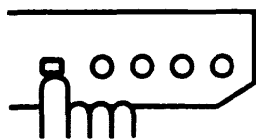
○そのままご使用になれます。

### 寝かせて使う場合

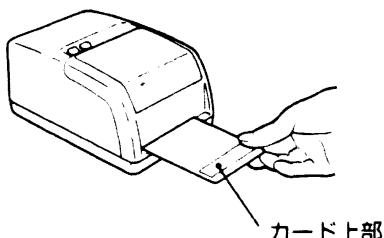
フロントカバーをはずします。



寝かせて使う ボタンを押します。



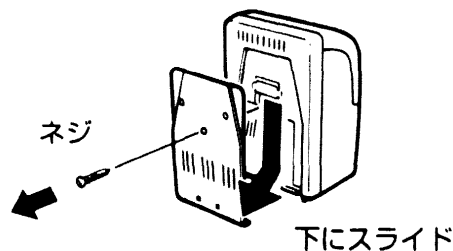
表示が逆さまになり、手前側からカード挿入しても文字が読めます。



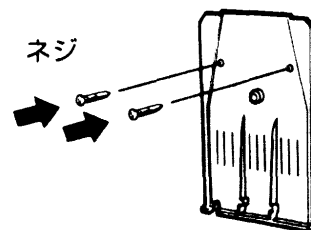
カード上部

### 壁に掛けて使う場合

背面のネジを外し、壁掛け用フックを取り外します。



付属のネジ2個を使い、壁掛け用フックを壁掛けしたい位置に取り付けます。



本体をフックにスライドさせながら取り付けます。



# 毎日の使い方

## 毎日の操作方法

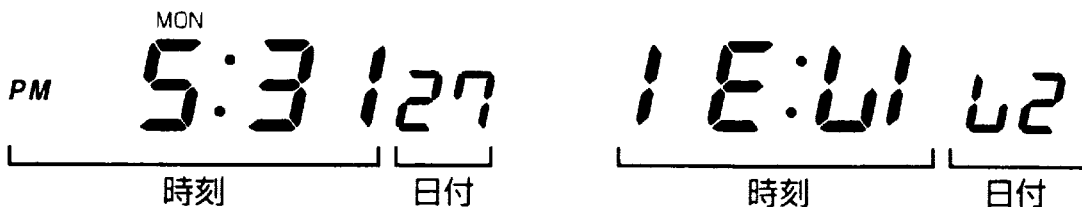
毎日の出勤、退勤のときは、専用タイムカード「E-カード」を挿入します。タイムカードを挿入するだけで日付、曜日、時刻が印字されます。印字欄は自動で選択されます。

**出** **退** ボタンを押すと印字はボタン操作を優先します。

## 時計画面の表示

通常表示

**寝かせて使う** ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、時計は24時間表示になります。  
(曜日の表示はしません。)  
(もう一度押すともとに戻ります。)



## タイムカードの印字例

日付、曜日、出勤、退勤の打刻を各回ずつ印字します。始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク「チ」、早退マーク「ソ」を印字します。

	日付	出	退	出 退 出 退		
				出	退	時間数
日付	1金	8:56	17:47	為	8:30	
時刻	2土	8:48	17:44	為	8:30	
	3日	8:02	17:55	為	8:28	
遅刻マーク	4月	8:54	16:53	為	7:53	
	5火	8:46	18:48	為	8:30	

早退マーク  
残業マーク  
所定時間数マーク

( 残業時間計算を選択している場合は残業時間数マーク「ザ」が印字されます )

カードの前半、後半

前半の一番上の欄には、締め日の翌日(月始め)が印字されます。  
例：20日締めの際は21日がカードの前半の一番上に印字されます。

# 設定の仕方

## 4 - 1 現在時刻の合わせ方

メモ

出荷時に現在時刻は設定されていますので改めて設定する必要はありませんが、万一、遅れたりしている時に操作してください。時刻は24表示で入力します。

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



退 ボタンを約5秒間押し続けます。

ピッピピと音が3回鳴り、設定モードの「現在時刻」に入ります。

この時画面右上に  マークが点灯します。

( 1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります。 )



他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

数字送り で「時間」の部分に合わせて、

セット で確定します。

点滅部が「分」に移動されます。

数字送り で「分」の部分に合わせて、

セット で確定します。

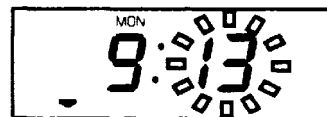
ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

時計が歩針を始めます。

この時セットボタンを押すと、再び00秒から歩針します。



現在時刻



現在時刻



現在時刻



これでこの項目の設定は終了です。

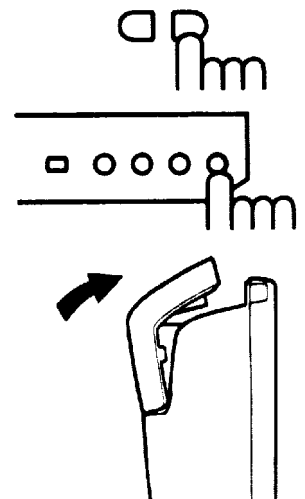
他の設定を続けて行いたい時

退 ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時

時計に戻す で時計に戻ります。

フロントカバーを取り付けます。



メモ

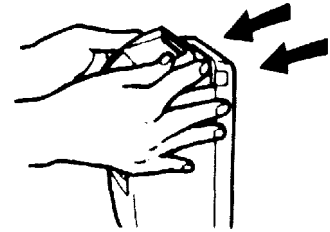
の時 数字送り を押すと、再設定が出来ます。


# 設定の仕方

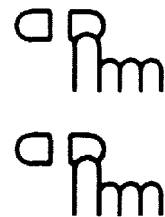
## 4 - 2 西暦年月日の合わせ方

メモ 工場出荷時に西暦年、月、日は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

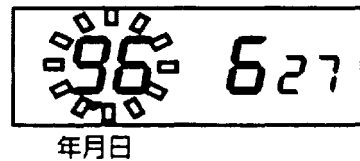


- ① ボタンを約5秒間押し続けます。  
ピッピピと音が3回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。
- ② ボタンでオレンジのランプを項目の「年月日」に合わせます。

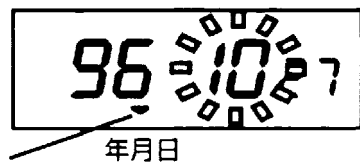


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

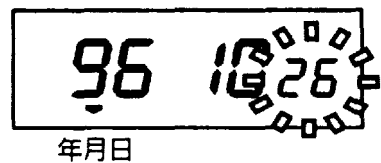
数字送り で「年」の部分を合わせ、  
セット で確定します。  
点滅部が「月」に移動されます。



数字送り で「月」の部分を合わせ、  
セット で確定します。  
点滅部が「日」に移動されます。



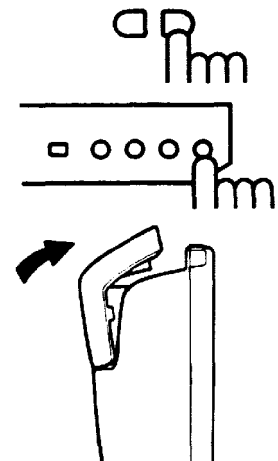
数字送り で「日」の部分を合わせ、  
セット で確定します。  
ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

- 他の設定を続けて行いたい時  
③ ボタンで他の設定に移れます。
- 他に設定がない時  
時計に戻す で時計に戻ります。

フロントカバーを取り付けます。





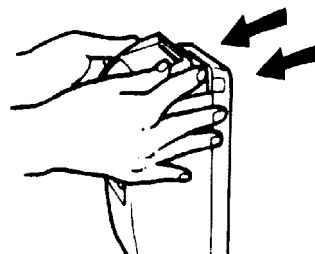
# 設定の仕方


## 4 - 3 締日の設定

メモ

「初期設定は20日締です。」  
締日が違う場合に変更してください。  
締日が2日のところは設定の必要はありません。  
月末締めの場合は「31」とセットします。

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



- 出 ボタンを約5秒間押し続けます。  
ピッピッピと音が2回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。



他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

数字送り で「締日」を合わせ、  
セット で確定します。  
ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



オレンジのランプ



これでこの項目の設定は終了です。

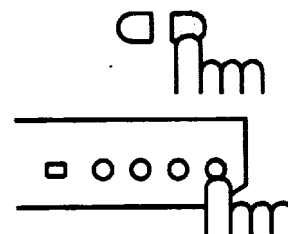
他の設定を続けて行いたい時

- 退 ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時

時計に戻す で時計に戻ります。

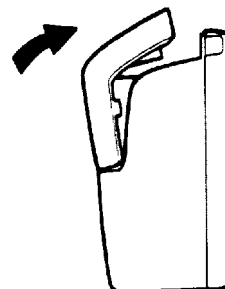
フロントカバーを取り付けます。



メモ

カード前半の一番上の欄は、締日の翌日が  
印字されます。

の時   ボタンを  
同時に押すと、初期設定に戻ります。



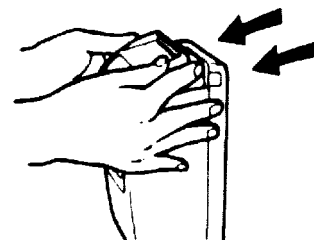
# 設定の仕方

## 4 - 4 始業時刻の設定


メモ

ここを設定すると設定された時刻より後の出勤は遅刻と判断され、時刻の後に遅刻マーク「チ」を同時に印字します。  
(設定時刻と同時の出勤は、遅刻マークの印字はしません。)

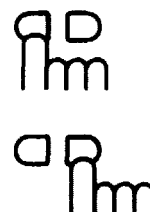
フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



**出** ボタンを約 5秒間押し続けます。

ピッピピと音が3回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。

**退** ボタンでオレンジのランプを項目の「始業」に合わせます。

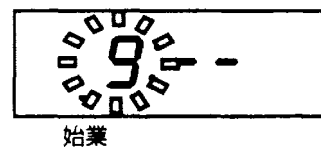


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

**数字送り** で「時間」の部分に合わせて、

**セット** で確定します。

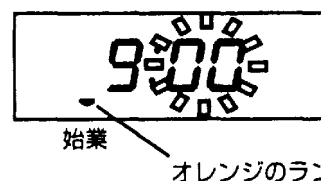
点滅部が「分」に移動されます。



**数字送り** で「分」の部分に合わせて、

**セット** で確定します。

(00分の場合、そのままセットボタン)  
ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

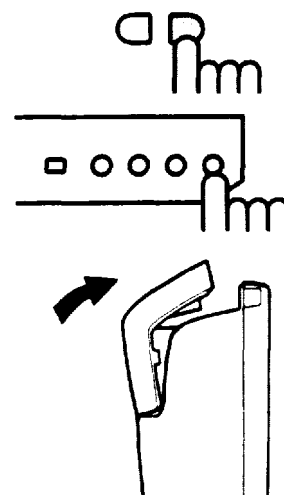
他の設定を続けて行いたい時

**退** ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時

**時計に戻す** で時計に戻ります。

フロントカバーを取り付けます。



メモ

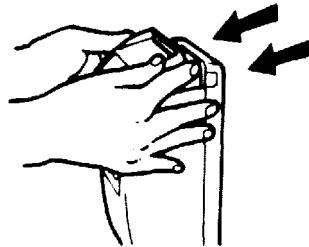
、の時 **数字送り** **数字戻し** ボタン  
を同時に押すと、設定のない状態に戻ります。

# 設定の仕方

## 4 - 5 終業時刻の設定

ここを設定すると設定された時刻より前の退勤は早退と判断され、時刻の後に早退マーク「ソ」を同時に印字します。  
(設定時刻と同時の退勤は、早退マークの印字はしません。)

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



**[出]** ボタンを約5秒間押し続けます。

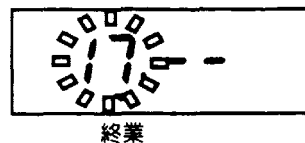
ピッピピと音が3回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。

**[退]** ボタンでオレンジのランプを項目の「終業」に合わせます。( **[退]** ボタンを2回押します。 )



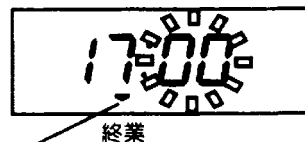
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

**数字送り** で「時間」の部分を合わせ、  
**セット** で確定します。  
点滅部が「分」に移動されます。



**数字送り** で「分」の部分を合わせ、  
**セット** で確定します。

(00分の場合、そのままセットボタン)  
ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



オレンジのランプ



これでこの項目の設定は終了です。

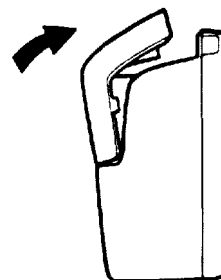
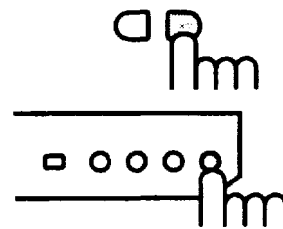
他の設定を続けて行いたい時

**[退]** ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時

**時計に戻す** で時計に戻ります。

フロントカバーを取り付けます。



**メモ**

、の時 **数字送り** **数字戻し** ボタン  
を同時に押すと、設定のない状態に戻ります。

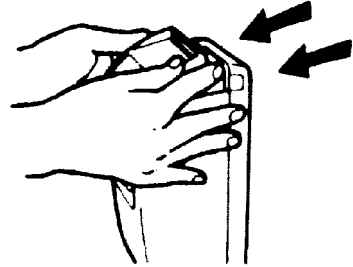
# 設定の仕方

## 4 - 6 残業開始時刻の設定


メモ

ここを設定すると設定された時刻より後の退勤は残業と判断され、時刻の後に残業マーク「ザ」を同時に印字します。  
(設定時刻と同時の退勤は、残業マークの印字はしません。)

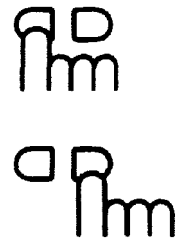
フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



**[出]** ボタンを約5秒間押し続けます。

ピッピッピと音が3回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。

**[退]** ボタンでオレンジのランプを項目の「残業」に合わせます。

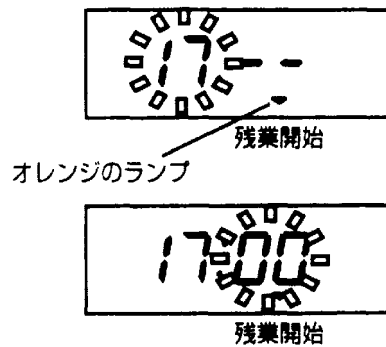


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

**数字送り** で「時間」の部分を合わせ、  
**セット** で確定します。

点滅部が「分」に移動されます。

**数字送り** で「分」の部分を合わせ、  
**セット** で確定します。



ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

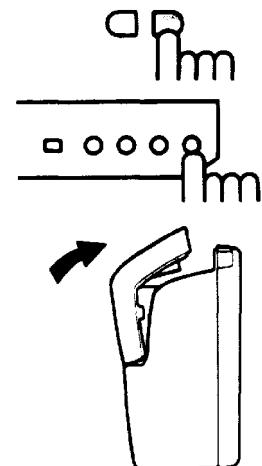
他の設定を続けて行いたい時

**[退]** ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時

**時計に戻す** で時計に戻ります。

フロントカバーを取り付けます。



メモ

、の時 **数字送り** **数字戻し** ボタン  
を同時に押すと、設定のない状態に戻ります。

# 設定の仕方

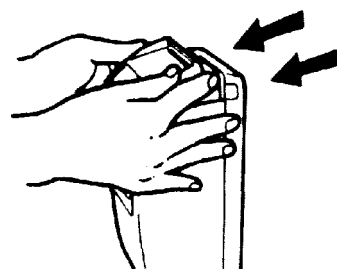
## 4 - 7 日付変更時刻の設定


メモ

ここで設定された時刻はタイムレコーダ上の日付が変わる時刻です。(印字の行を変える時刻)  
この時刻をまたいで働くと退勤が出勤より 行下 に印字されてしまいます。

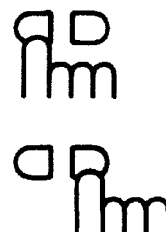
「初期設定は夜中の 3時です。」この時刻をまたいで働かれる方がいないところでは、設定を変える必要はありません。

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



**出** ボタンを約 5秒間押し続けます。  
ピッピッピと音が 3回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。

**退** ボタンでオレンジのランプを項目の「日付変更」に合わせます。

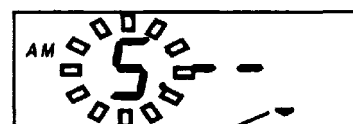


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

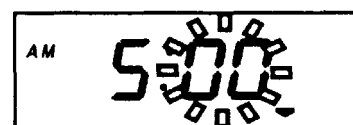
**数字送り** で「時間」の部分を合わせ、  
**セット** で確定します。  
点滅部が「分」に移動されます。

**数字送り** で「分」の部分を合わせ、  
**セット** で確定します。

(00分の場合、そのままセットボタン)  
ピッピと音が 2回鳴り、設定されます。



日付変更  
オレンジのランプ



日付変更



これでこの項目の設定は終了です。

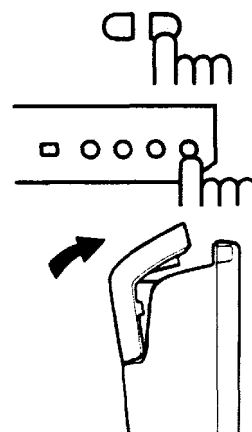
他の設定を続けて行いたい時

**退** ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時

**時計に戻す** で時計に戻ります。

フロントカバーを取り付けます。



メモ

、の時 **数字送り** **数字戻し** ボタン  
を同時に押すと、初期設定に戻ります。

# 設定の仕方

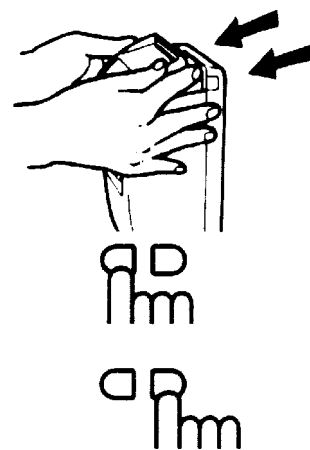
## 4 - 8 計算モードの設定


メモ

「初期設定は計算なしです。」

計算を行う場合は所定内時間計算または残業時間計算を選択してください。

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



**出** ボタンを約 5秒間押し続けます。  
ピッピッピと音が 3回鳴り、設定に入ります。  
この時画面右上に  マークが点灯します。

**退** ボタンでオレンジのランプを項目の「計算モード」に合わせます。

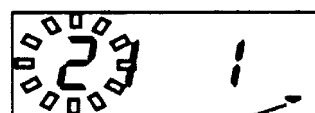


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

**数字送り** で「計算項目」の部分合わせ、

**セット** で確定します。

点滅部が「計算方式」に移動されます。



オレンジのランプ

### 計算項目のコード番号と計算内容

- 1: 計算なし
- 2: 所定内時間計算
- 3: 残業時間計算

メモ

#### 所定内時間計算

始業時刻から終業時刻までの「所定内時間帯」に勤務した時間を計算します。始業時刻以前および終業時刻以降の勤務時間は計算されません。始業時刻の設定がなく終業時刻のみを設定されている場合は日付変更時刻から終業時刻までを所定内時間として計算します。また終業時刻の設定がなく始業時刻のみを設定されている場合は始業時刻から残業開始時刻までを所定内として、残業開始時刻も設定されていない場合は日付変更時刻までを所定内として計算します。時間数はカードに所定内時間数マーク「シヨ」と共に印字します。 **参照** P. 18

#### 残業時間計算

残業開始時刻から日付変更時刻までの「残業時間帯」に勤務した時間を計算します。残業開始時刻が設定されていない場合、計算結果は全て「0:00」となります。時間数は残業時間数マーク「ザ」と共に印字します。 **参照** P. 18

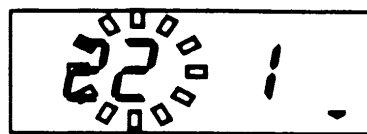
# 設定の仕方

## 4 - 8 計算モードの設定

**メモ** 計算を行う場合の計算方式と計算単位を設定します。計算単位は機械内部で計算用に補正する単位で、補正した時刻をカードに印字するものではありません。

**数字送り** で「計算方式」を合わせ、  
**セット** で確定します。

点滅部が「計算単位」に移動されます。



計算モード

計算方式のコード番号と計算内容

1：時刻補正 2：時間補正

時刻補正

計算単位に従って出勤時刻は後ろに切り上げ、退勤時刻は前に切り捨てたうえで勤務時間を計算します。 **参照** P. 18

時間補正

出勤時刻、退勤時刻から勤務時間を計算した後、計算単位に従って勤務時間を補正します。 **参照** P. 18

補正時間（計算単位）は1分、5分、10分、15分、20分、30分、60分のいずれかの単位を選択してください。

**数字送り** で「計算単位」を合わせ、  
**セット** で確定します。

ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



計算モード

計算項目を変更すると、その日のデータはすべてクリアされます。このため、変更はその日の出勤が始まる前か全員の退勤が終わってから行ってください。データクリア中は処理中であることを示す数字（10 1）が表示されます。



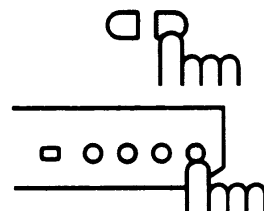
これでこの項目の設定は終了です。

他の設定を続けて行いたい時

**戻** ボタンで他の設定に移れます。

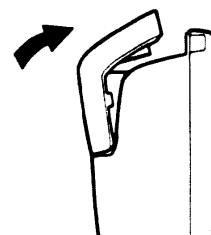
他に設定がない時

**時計に戻す** で時計に戻ります。



フロントカバー - を取り付けます。

**メモ** 、 、 の時 **数字送り** **数字戻し** ボタンを同時に押すと、設定のない状態に戻ります。



## 計算項目

「所定内時間帯」とは始業時刻、終業時刻の設定により次のようになります。

- ・ 始業時刻、終業時刻を設定した場合



- ・ 始業時刻のみ設定した場合



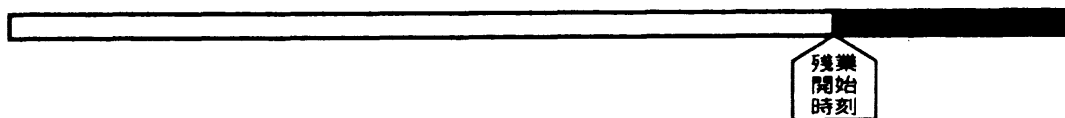
- ・ 終業時刻のみ設定した場合



- ・ 始業時刻も終業時刻も設定しない場合



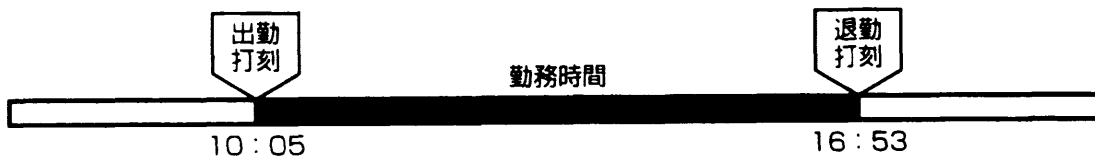
「残業時間帯」とは次のようになります。



## 計算単位

計算方式の違いによる計算例

(計算単位：1分、5分、10分、15分、20分、30分、60分)



〔時刻補正  
30分単位  
の場合〕

出勤時刻を補正10:05 - 10:30 (30分単位で切り上げ)  
退勤時刻を補正16:53 - 16:30 (30分単位で切り捨て)  
勤務時間の計算16:30 - 10:30 = 6:00  
時間数の計算結果は6:00となります。

〔時間補正  
30分単位  
の場合〕

勤務時間の計算16:53 - 10:05 = 6:48  
勤務時間の補正 6:48 6:30 (30分単位で切り捨て)  
時間数の計算結果は6:30となります。



# インクリボンの交換方法

印字がうすくなったら早めに専用インクリボン・ER - IR100（別売）と交換してください。

\*インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

## ⚠ 注意



プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。

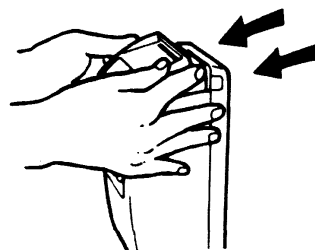


インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

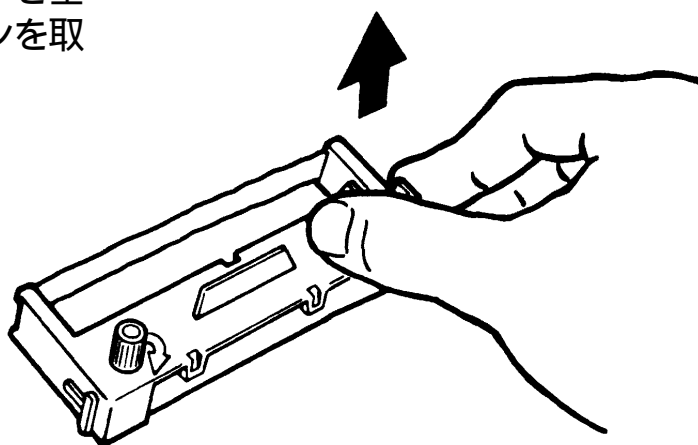
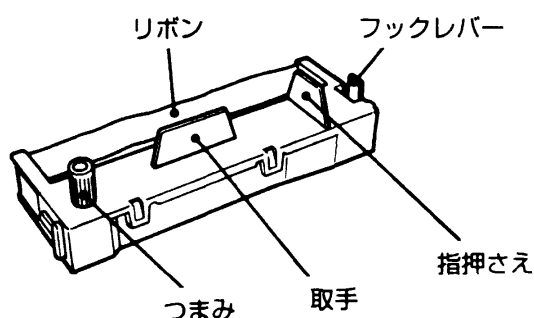


インクリボンの交換の際、万 -、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹼水で洗い流してください。

フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

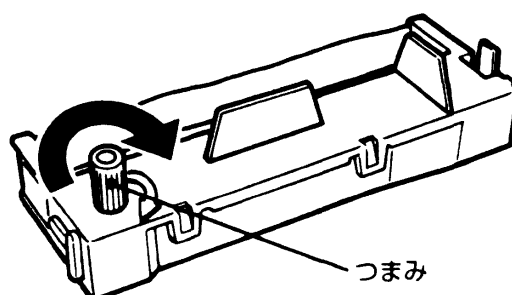


リボンカセットの「指押さえ」と「フックレバー」を右手の親指と人差し指ではさみ、そのまま持ち上げます。次に「取手」を左手でつまんで持ち上げ、インクリボンを取り外します。



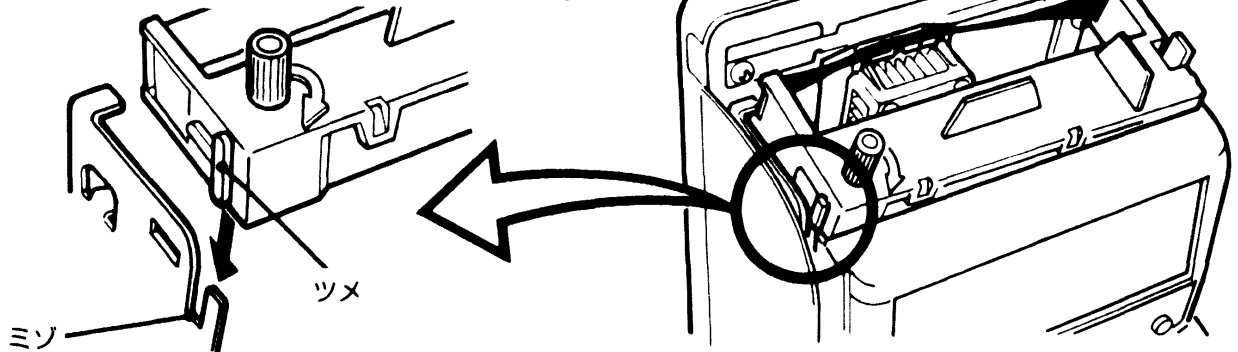
新しいリボンカセットを取りだし、「つまみ」を矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで十分に巻いてください）

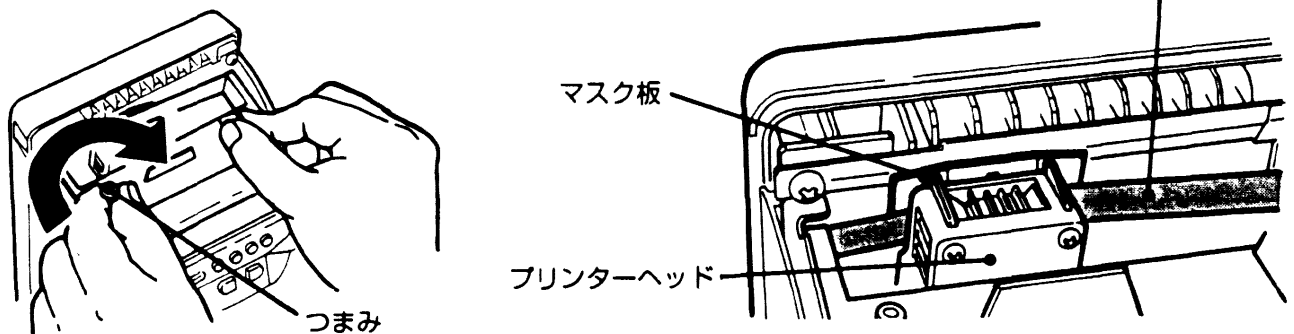


# インクリボンの交換方法

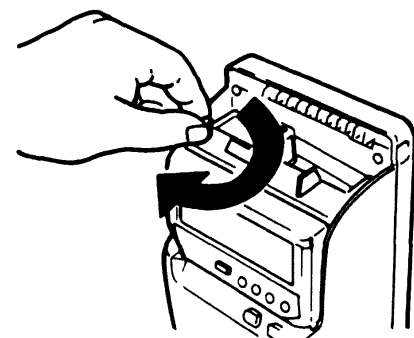
リボンカセットの左右両側面の「ツメ」を本体のカセット台の「ミソ」に合わせます。



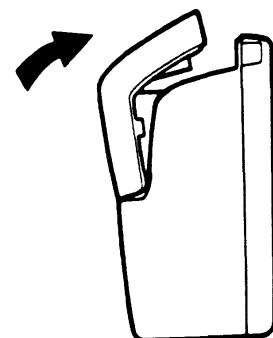
リボンカセットの「つまみ」を回しながら、「リボン」が「プリンターヘッド」と「マスク板」の間になるよう、カチッと音がするまで押しつけます。（きちんとセットされていないとリボンが送られない場合があります）



リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。



フロントカバーを取りつけます。



電源コードを差し込み、未使用のタイムカードを入れて印字が正常であることを確認してください。

## こんな時は

故障と思われる前にご確認ください。

現象	チェック方法	処置
カード印字しない	インクリボンを正しくセットしていますか	インクリボンを正しくセットしてください
タイムカードが入らない	カードの曲がり、破損はないですか	新しいカードをご使用ください
カードが入ったまま出てこない	印字途中、電源コードが抜かれていますか	電源コードを抜き、差し込み直してください
印字する段がずれる	印字中に押し込んだり、ひっぱったりしていませんか	カードは自動送りされますので軽く差し込んでください
印字がうすい	インクリボンを永く使っていますか	インクリボンを新しいものと交換してください

以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスサービス株窓口まで、ご相談ください。

## エラー一覧

カード操作中に、エラー音（ピッピッピッ）が鳴りエラー表示をします。エラーコードを確認して処置を行ってください。

コード	内容	処置
E - 0 0	自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください
E - 0 1	カードの表裏上下が間違っている	カードを正しい向きで入れてください
E - 0 2	パンチ穴が正常に読めない	カードが自動送りされたら、手を離してください。カードの曲がりなどがなければ確認してください
E - 0 4	すでに退勤打刻が終了しています	
E - 0 5	本日の使用人数が150名（計算選択時は50名）を越えています。	
E - 6 9	自動送りされても、カードがスムーズに入っていない	E - 0 2 と同様の処置を行ってください
E - E E	プリンター異常	電源プラグを抜き差ししてください

# 商品仕様

商品名	ER - 110S
電源	AC100V 50 / 60Hz
外形寸法	200(H) × 135(W) × 100(D)mm
重量	2.0Kg
消費電力	通常4.5W 最大25W
時計機構	水晶発信式
表示管	蛍光表示管
表示内容	日付、曜日、時分、AM / PM
印字方式	インパクトドット方式
印字内容	日付、曜日、時分、(チ)(ソ)(ザ)(シヨ)
メモリ-保持	工場出荷時より停電累計5年間
使用人数	最大150人(計算選択時50人)
タイムカード	専用カード「ER - Sカード」
インクリボン	専用インクリボン「ER - IR100」
使用温度	0 ~ 40
保存温度	- 20 ~ 60

## 保証書とアフターサービス

### 保証書について

保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録され、同時に保証書も有効になります。

### アフターサービスについて

お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス(株)にご相談ください。

出張修理：サービスマンを派遣し料金はその都度お支払いいただきます。  
(地域によって出張出来ない所もありますので、当社営業所またはマックスサービス(株)にご相談ください。)

修理代(技術料+部品代)に出張料をプラスしてご請求申し上げます。

持ち込み修理：修理品を販売店、またはマックスサービス(株)の窓口にお持ち込みください。